

市議会だより なかま

No.192

Shigikaidayori NAKAMA
2024.11.10

<https://www.city.nakama.lg.jp>

【生産者さんの声】

お米は「夢つくし」と「元気つくし」の2種類の品種を育てており、業者向け販売と個人向け販売の両方を行っています。また、スーパーで販売されている惣菜等の酢飯としても活用されています。

個人向けも1年契約で販売していますので、農薬をなるべく使わずジャンボタニシや台風から守り、大切に育てたお米を是非ご賞味ください。

3月 6月 9月 12月

■ 9月定例会の概要と議決結果	2～6
■ 一般質問	6～9
■ 中間市議会からのお知らせ	10

大八木 純生さん



9 月定例会の概要と議決結果

9 月定例会の概要と結果（9 月 3 日～9 月 2 6 日）

令和 6 年第 3 回（9 月）定例会におきましては、同意案 1 件、諮問 2 件、決算認定 9 件、議案 9 件、意見書案 3 件が提出され、9 月 3 日から 9 月 26 日までの 24 日間で審議されました。9 月定例会において審議された主なものについて、ご紹介します。

全会一致で同意・認定・可決した議案

- ・同意案第 3 号 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- ・諮問第 1 号・第 2 号 人権擁護委員候補者の推薦について
- ・認定第 3 号 令和 5 年度中間市住宅新築資金等特別会計歳入歳出決算認定について
- ・認定第 4 号 令和 5 年度中間市地域下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・認定第 5 号 令和 5 年度中間市公共用地先行取得特別会計歳入歳出決算認定について
- ・認定第 8 号 令和 5 年度中間市公共下水道事業会計利益の処分及び決算認定について
- ・第 40 号議案 令和 6 年度中間市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）
- ・第 41 号議案 令和 6 年度中間市水道事業会計補正予算（第 1 号）
- ・第 42 号議案 中間市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
- ・第 45 号議案 中間市道路線の認定について

賛否が分かれた議案

議案 番号	議案名	議員名（議席番号順）	小 林	堀 田	田 口 善	蛙 田	柴 田 芳	田 口 澄	山 本	安 田	掛 田	中 尾	阿 部	大 和	柴 田 広	下 川	井 上	議決 結果
市 長 提 出 議 案																		
認定第 1 号	令和 5 年度中間市一般会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第 2 号	令和 5 年度中間市特別会計国民健康保険事業歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第 6 号	令和 5 年度中間市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第 7 号	令和 5 年度中間市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第 9 号	令和 5 年度中間市水道事業会計利益の処分及び決算認定について		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 及び認定
第 38 号議案	令和 6 年度中間市一般会計補正予算（第 3 号）		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第 39 号議案	令和 6 年度中間市特別会計国民健康保険事業補正予算（第 2 号）		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第 43 号議案	中間市国民健康保険条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
第 44 号議案	中間市第 5 次総合計画基本構想の策定について		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
第 46 号議案	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議 員 提 出 議 案																		
意見書案第 7 号	自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書		×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	—	原案否決
意見書案第 8 号	国民健康保険への国庫負担の増額で、応益割課税の廃止を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	—	原案可決
意見書案第 9 号	生活保護の夏季加算の制度化を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	—	原案可決

歳入 199億9,102万4,049円

歳出 190億7,814万1,227円

歳入歳出差引残額 9億1,288万2,822円

【歳出の主なもの】

電力・ガス・食料品等価格高騰
緊急支援給付金給付事業

2億1,153万円

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい市民税非課税世帯等に一世帯当たり3万円を給付しました。



子育て世帯生活支援特別給付金事業

7,925万円

物価高騰の影響を特に受ける低所得のひとり親世帯等に対して、子ども一人当たり5万円を給付しました。



物価高騰緊急支援給付金給付事業

5億9,652万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、対象者に給付金を支給しました。

支給対象	支給金額
市民税非課税世帯	7万円
市民税均等割のみ 課税世帯	10万円
対象世帯の18歳以下の 子ども一人当たりの加算額	5万円

筑前垣生駅舎屋根等再塗装事業

456万5,000円

老朽化した筑前垣生駅舎の外壁及び屋根等を美観のため、再塗装しました。



歳入歳出追加額 **2億1,354万2,000円**
 （歳入歳出総額 194億7,790万8,000円）

【歳出の主なもの】

中間市特産品開発等事業

2,402万8,000円

物価高騰の影響を受けながらも特産品開発等を行う
 中小企業者に対し、その経費の一部を補助します。



▲なかっぱまんじゅう

▲焼きドーナツ



▲かまぼこ（盛り合わせ）

▲ほのぼの味噌

学校給食費緊急支援事業

1,511万6,000円

物価高騰により令和4年度から1食当たりの単価を
 小学校で40円、中学校で50円値上げしていますが、
 保護者の経済的負担を軽減するため、本年度の2学
 期及び3学期の値上げ分を緊急的に補助します。

	給食費(1食分) 2学期・3学期
小学校	270円 (うち補助額40円)
中学校	330円 (うち補助額50円)

中間仰木杉記念球場改修事業

4,860万8,000円

老朽化した中間仰木杉記念球場について、グラウン
 ドの改修工事費に助成金分を追加計上し、グラウン
 ド全体を整備します。また、安全対策としてラバー
 フェンスを改修し、合わせてトイレまでの動線改修
 工事をします。



保育所等給食支援事業

874万8,000円

保護者負担の軽減を図るため、保育所等における
 給食費の材料費高騰分を補助します。



総合会館改修工事業

425万5,000円

総合会館について、別館の利用者の利便性向上及び健診車等大型自動車の利便性確保のため、別館駐車場を改修するものです。

工事内容は、中央のシンボルツリー、花壇、街灯、駐輪場等を撤去、舗装し、道路を広げるものです。



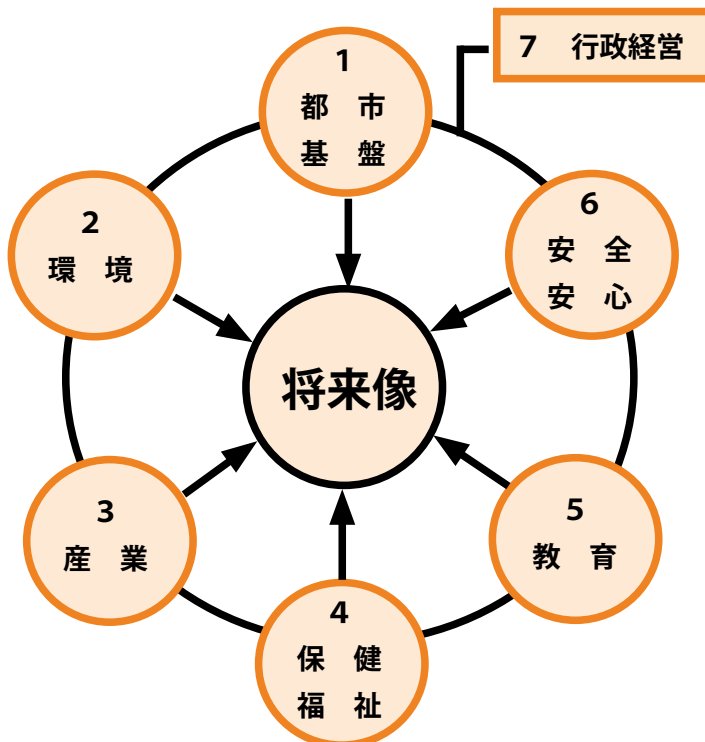
○ 可決

中間市第5次総合計画基本構想の策定について

【基本構想】

本市が目指す将来像、人口の将来展望、土地利用構想を定め、まちの動向を示す指標を用いながら、まちづくりの方向性を示します。

また、将来像の実現を目指すため7つの政策を設け、総合的・計画的に推進していきます。



政策1
都市基盤

コンパクトで、快適に暮らせる
まちづくり

政策2
環境

環境にやさしい、
自然と調和するまちづくり

政策3
産業

活力とにぎわいのあるまちづくり

政策4
保健福祉

元気の輪が広がるまちづくり

政策5
教育

人権を尊重し、中間市の未来を拓く
人材を育てるまちづくり

政策6
安全安心

安全・安心なまちづくり

政策7
行政経営

将来にわたって持続可能な
まちづくり

人 事 紹 介 《敬称略》

固定資産評価審査委員会委員	日 高 幸 夫
人 権 擁 護 委 員 候 補 者	乙 藤 和 典
	三 角 由 紀 子
堀 川 水 利 組 合 議 会 議 員	下 川 俊 秀
	勝 原 利 介
	白 橋 宏

○ 可 決

中間市道路線の認定について

【認定された道路】市営球場7号線

大字垣生地内の開発に伴い、中間市が道路用地の帰属を受けたことにより、当該道路を市道として認定しました。



↑ 産業消防委員会（田口善大委員長、阿部伊知雄副委員長、山本慎悟委員、柴田広辞委員、柴田芳信委員）で認定する道路の視察を行いました。

9月定例会「一般質問」

蛙田忠行議員

（日本維新の会）



第5次総合計画について

提案の経緯及び目指す姿について伺います。

企画課長 昨年6月の

第3回市議会定例会に上程し、第5回市議会定例会において当該議案の撤回を行いました。

撤回後は、中間市第4次総合計画の検証を行うとともに、将来都市構想という新たな視点を加え、見直しを行ってきました。目指す姿として、夢がかなうま

ちなかまを将来像と掲げ、計画期間が終了する2033年の定住人口目標を3万6,000人とする人口の将来展望及び将来像の実現を目指しています。

都市計画マスタープランについて

コミュニティエリアの再生についての位置づけ、そして、今まで

どのような施策推進がなされたのか伺います。

都市計画課長 コミュニティ広場周辺は現在、公益・文化交流拠点地区として、市民との交流を促進する地区として位置づけられています。今後は、それ

だけでなく商業機能、行政機能など、多種多様な都市機能が集積する地区として、商業・業務拠点地区の拡大を検討し、さらなるにぎ

わいと交流を創出する土地利用の推進が必要であると考え、集約型都市構造の形成を目指していきたいと考えています。

今まで行った施策については、虫生津工業団地西側の市街化区域の編入、用途地域の指定などを実施し、土地利用の規制誘導に努め

ました。

中学校案の決定経緯と今後の進捗、そして、市長部局と教育委員会の連携のための新たな検討組織の立ち上げについて伺います。

教育部長 昨年4月に、市長に提言をし、本年4月に市長から、新中学校は中間中学校と中間東中学校敷地を活用するとの回答がなされました。今後は、東西地域に各1校配置し、通学範囲である約3キロ以内を網羅できる中間中学校と中間東中学校敷地を、市長部局と連携し、整備を進めていきたいと考えています。検討組織については、教育委員会の教育施設再編等準備事務室が窓口となり、市長部局と部局横断的に検討を深めていくためには必要であると考えています。

学校再編について

ました。

中学校案の決定経緯と今後の進捗、そして、市長部局と教育委員会の連携のための新たな検討組織の立ち上げについて伺います。

教育部長 昨年4月に、市長に提言をし、本年4月に市長から、新中学校は中間中学校と中間東中学校敷地を活用するとの回答がなされました。今後は、東西地域に各1校配置し、通学範囲である約3キロ以内を網羅できる中間中学校と中間東中学校敷地を、市長部局と連携し、整備を進めていきたいと考えています。検討組織については、教育委員会の教育施設再編等準備事務室が窓口となり、市長部局と部局横断的に検討を深めていくためには必要であると考えています。

田口善大議員

(中間クラブ)



子供たちの遊び場の確保について

屋内で遊べる場所について伺います。

子ども未来課長 屋内の遊び場には、市直営の子育て支援センター「くるり広場」や、委託事業の「子育てサロン」があります。

議員 くるり広場は土・日曜日、子育てサロンは日曜日が休館であり、土曜日・日曜日にしか休みが取れない方にも利用できるよう、拡充していくべきではないでしょうか。

保健福祉事務所長 拡充した場合、保育士の確保等課題もあるため、他自治体の実施状況を調査し、利用者の意見等も伺って検討します。

議員 屋外で遊べる場所について伺います。

建設課長 市が管理している都市公園が市内に7か所あり、令和3年から令和4年にかけて、補助金を使い、遊具の取替えを実施しています。

議員 ミストが出る設備の設置など暑さ対策等の環境整備が必要ではないでしょうか。

建設課長 必要と思いますので、今後検討します。



▲くるり広場

場合の消防の対応について伺います。

警防課長 水防計画書に基づき、中間市消防本部水防非常警戒基準を定めており状況により水防警戒本部を設置し、水位観測及び重要水防箇所

の警戒巡視を行っています。

議員 巡視で得た情報をどう活用しているのか伺います。

警防課長 安全安心まちづくり課及び建設課と共有を図り迅速な対応ができるように努めています。

議員 大規模災害に対する消防機関の応援体制について伺います。

消防長 各自自治体の協定により締結された福岡県消防相互応援体制と、総務省消防庁が管轄する緊急消防援助隊による応援体制が構築されています。

大雨が発生した場合や大雨が予測される

阿部伊知雄議員

(公明党)



中間市の今後の観光政策について

人口減少が進む中、関係人口の増加は中間市の発展を考える上で重要です。現在、中間市にある観光資源と一年間でそこを訪れた人数を伺います。

商工観光課長 本市には世界遺産である遠賀川水源地ポンプ室、垣生公園、月瀬八幡宮、堀川、中間唐戸、屋根のない博物館、遠賀川鉄橋、梅安天満宮等が挙げられ、中間市三大祭りの筑前中間やっちゃれ祭、筑前中間さくら祭、筑前中間川まつりも観光資源に挙げられます。訪れた人数は、令和5年度において遠賀川水源地ポンプ室9306人、筑前中間やっちゃれ祭

9500人、筑前中間さくら祭1万1000人、筑前中間川まつり4400人の来場でした。

議員 中間市の今後の観光政策について伺います。

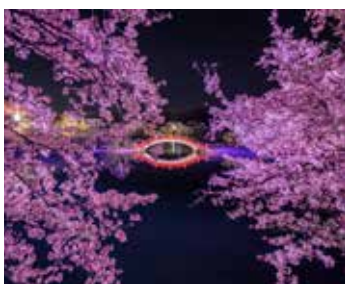
建設産業部長 本市の観光資源の知名度と魅力の向上を図り、それが後世に受け継がれるよう関係人口の増加に努めると同時に、文化、芸能、スポーツ関係等で貢献した人物にスポットを当てたプランも取り入れることで、市民の皆様にも中間市の新発見を提供し、中間市を誇りと思っ

ていただけのようなシビックプライドの醸成に繋げて参ります。

市内農産物を使った市の特産品の開発について

市の将来の発展を見据えて、今こそ中間市独自の特産品の開発に力を入れる時だと思いますが、市の見解を伺います。

建設産業部長 独自の特産品の開発につきましては、関係団体、農業者等と協議を行うとともに、体験学習を経験した小学生や関係者にアンケート調査を行うなど、若い世代の柔軟な発想や想像力も取り入れながら、独自の特産品開発に取り組んで参ります。



▲筑前中間さくら祭

掛田るみ子議員

(公明党)



軟骨伝導イヤホンの導入について

耳の聞こえにくい方の為に窓口に配置してはいかがでしょうか。

市民課長 現在は配置していませんが、今後検討します。

議員 購入費の助成について伺います。

介護保険課長 イヤホンを使用することにより、加齢性難聴の方の聴力が改善し、認知症予防にも繋がるものと考えており、今後調査研究を行っていきます。

議員 この取組により中間市が先進地になると思いますが、市長の見解を伺います。

市長 今後は各部署の窓口に配置を進め、助成制度についても前向きに検討します。

防災意識の啓発及び非常用持ち出し袋の全戸配布について

非常用持ち出し袋を持参しての避難訓練の開催を提案しますが、いかがでしょうか。

総務部長 実態に即した避難訓練になると考えます。今後、校区まちづくり協議会に提案していきます。

議員 非常用持ち出し袋の全戸配布の実施について伺います。

市長 災害に対する、大事な一助となると思います。早急に配布したいと思っています。

心と体の健康意識を高める「プレコンセプションケア」の推進について

全国で初めて福岡県がプレコンセプションケアセンターを開設しました。教

育現場における性に関する指導などで、どう活用できるのか伺います。

学校教育課長 プレコンセプションケアセンターでは、情報発信を目的に、養護教諭を対象とした研修会が実施されるということで、各学校に情報提供し、積極的に活用していきます。

議員 教育委員会と子ども未来課が連携し、思春期の子ども達が困った時にも相談できるよう周知すると共に、教育現場でもプレコンセプションケアの視点を活かしてもらいたいと思いますが教育長の見解を伺います。

教育長 今後は、関係機関と連携し、プレコンセプションケアの視点を持って、教育活動を推進していきます。

堀田克也議員

(明政クラブ)



市内に設置している街灯の電気料金の市民負担について

自治会では、電気代の負担について加入世帯のみが負担し、未加入世帯には負担していただけない状況です。市が自治会の電気料金を負担することに伺います。

市長 自治会からは、電気代を自治体で負担してもらいたいとの声も上がっています。不公平感の解消を図るため、今後検討の必要があると考えています。

議員 市長は市民の不公平感について認識しているとのことですが、不公平感の解消のため、一刻も早く対策を講じていただくことをお願いします。

マイクロバス処分後の本市の事業の現状について

新型コロナウイルス感染症流行前のマイクロバス利用状況と、現在の民間借り上げバス利用状況について伺います。

公共施設管理課長 平成30年度のマイクロバス利用実績は、延べ202日、321台です。令和5年度における民間バスの利用実績は、延べ42日、60台です。

議員 最も利用が多かった部署と実績について伺います。

公共施設管理課長 最も多く利用しているのは学校教育課です。バスの利用実績は、平成30年度が延べ97日194台であり、令和5年度が延べ34日52台です。

議員 延べ日数では約3分の1に、台数では約4分の1と大幅に減少しており、教育活動の機会が減少しているのではないかと心配しています。

子ども達が校外学習や社会見学で学ぶ教育的効果は大きく、大変有意義なことです。

現在そのような教育活動が十分に実施されているのか、また、十分に活動するために必要なバス借り上げの予算措置がなされているのかについて伺います。

学校教育課長 現状では学校の要望どおりの活動をしていくための予算は確保できています。

議員 今後は、縮小してきた教育活動が盛んになると思われますので、十分な教育活動ができるよう予算措置をお願い致します。

は約4分の1と大幅に減少しており、教育活動の機会が減少しているのではないかと心配しています。

子ども達が校外学習や社会見学で学ぶ教育的効果は大きく、大変有意義なことです。

現在そのような教育活動が十分に実施されているのか、また、十分に活動するために必要なバス借り上げの予算措置がなされているのかについて伺います。

学校教育課長 現状では学校の要望どおりの活動をしていくための予算は確保できています。

議員 今後は、縮小してきた教育活動が盛んになると思われますので、十分な教育活動ができるよう予算措置をお願い致します。

田口澄雄議員

(日本共産党)



学校給食費の無償化について

食い違いについて伺います。

6月議会での市長の答弁では、9月議会での計上に向け検討を重ねていますとありました。どう検討がなされたのか伺います。

市長 補正予算では総額2億円規模での提案をしており、内容の主なものは、安全対策と物価高騰への対応です。予算の編成過程で様々な角度から検討を重ねた結果提案をしています。

議員 2億円は、学校給食以外だと思えますが、無償化実施は妥当でないというのが、検討の結論だと私は捉えています。次に、新日本婦人の会とのやりとりでの公約に対する発言の

市長 学校給食費の無償化を実現したいという意向に変わりはありません。安定的な財源を確保し、一過性にならない状況を整えた上で実現していくことが必要だと考えています。

議員 以前、ふるさと納税を財源とすることについて質問しましたが、目的が指定をされているからという答弁で賛同を得られませんでした。しかし、ふるさと納税の使い途アンケートにおいて、教育や子育て支援を選択した方と指定希望を行わない方を合わせると85%にもなります。今年度予算に85%を掛けても約2億近く

なり、財源は十分にあると思います。この点について伺います。

市長 使途の指定がない寄附について、当市では現状、市政全般にわたる事業を行う財源としてふるさと納税の収益を見込んでいます。この財源に頼らない財政運営が見込めない限り、ふるさと納税の収益を、給食費無償化のような特定の事業の財源として扱うことは困難であると考えています。

議員 公約ですので、全国的に見られる自己財源、又はふるさと納税を使い実施すべきだと考えます。



▲学校給食

柴田芳信議員

(日本共産党)



ハピネスなかまの空調設備について

昨年10月から故障

していたパルハウス
ぼちぼちの空調機を
修理されなかった理由を伺います。

総合会館長 昨年

から不調の度に修理を行っていましたが、修理が必要な基盤が既に生産終了していることが判明したため、時間を要しました。

議員 空調機の修理をせずに、なぜハピネスなかまにこども家庭センターを設置することとなったのか理由を伺います。

総合会館長 令和6年度から新たな体制とするため移動を行いました。また、入所する場所の空調機は故障しておらず、相談室や研修室など、

他に使用すると考えられる部屋の空調機についても、同様に故障していなかったためです。

議員 社会福祉協議会は市民の福祉を守るべきです。今回空調設備故障の対応は責務を果たせているとは言えません。市の考えについて伺います。

総合会館長 初期対応及び原因究明に時間を要し、皆様にご迷惑をおかけしたものと考えており、総合会館の快適な利用促進に努めていきます。



▲ハピネスなかま

健康保険証について

マイナンバーカード

の保険証利用登録の状況について伺います。

健康増進課長 本年6

月末時点での本市のマイナ保険証の登録率は、国民健康保険では63・1%、後期高齢者医療保険では63・8%となっております、いずれも国、県の登録率を上回っています。

議員 マイナ保険証は必ず作らなければいけないのか伺います。

健康増進課長 マイナ保険証の作成は強制ではなく、任意です。現行の健康保険証は令和6年12月2日で廃止されることとなり、廃止後は、各保険者が資格確認書を発行します。経過措置として、令和6年12月1日時点で有効な現行の健康保険証は、最長1年間使用することが可能です。

「Instagram紹介」

\Follow Me!/ 中間市議会公式



Instagram はじめました

定例会の開催情報や日々の議会の活動内容を随時発信していきます。

nakamashigikai

検索



YouTube ライブ配信視聴方法

▼「議会—中間市公式ホームページ」選択画面



中間市議会 QR コード

- ①「中間市議会」を検索して「議会 — 中間市公式ホームページ」を選択します。
- ②「本会議・委員会 生配信」を選択すると、YouTube のライブ配信画面へ移動します。

公共施設での議会の生中継について

ハピネスなかま、なかまハーモニーホール及び地域交流センターにて、議会の生中継を行っています。議会開催日が休館日の施設では、中継は行いませんので、ご注意ください。



次の定例会

次の定例会は、11月26日(火)から開催する予定です。

議員の一般質問は11月28日(木)午前10時から行う予定です。

本会議及び委員会の日程は決まり次第、中間市のホームページに掲載します。

問合先：議会事務局 ☎ 246-6220



会期日程 QR コード

ハチケングループ

YAHATA 有限会社 八幡建設

九商 株式会社 九商

飲食部 ・うどん処 ひら田
・らー麺工房 ひら田家
・鉄板焼 ひら田

FUJIKI 藤木建設株式会社

- ◆土木建築工事業 ◆下水道更生管工事業 (SPR工法)
- ◆管・水道施設工事業 ◆とび・土木工事業 ◆舗装工事業
- ◆土壌改良及び地下環境保全 (リテラ工法)

〒809-0030 中間市中央1丁目9番30号1階
TEL 093-246-2355 FAX 093-246-0158

ISO 9001:2015 09336-01
ISO 14001:2015 09631-01